

住み慣れた地域で暮らし続けるために 日々ご来店いただけるお客様が安全・安心にお買い物できるように 『認知症サポーター養成講座』開催

2021/8/11

セブン&アイ HLDGS.

CSRアクション

イトーヨーカドーでは、従業員向けの認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターなど地域と連携し開催しています。開催にあたっては、密にならない配慮やアルコール消毒、マスク着用などコロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した上で開催しています。

繁忙期を除いた認知症予防の日のある6月とアルツハイマー月間である9月を養成強化月間と位置づけ取り組みを推進しています。

地域包括支援センターの職員の方を講師として招き、認知症サポーター養成講座を通じて、ご来店されるお客様や、従業員の家族への適切な周囲の応対など学びました。認知症に対する理解を深め、今後の接客応対に活かし、誰も安全・安心に暮らせる社会の構築に向けて取り組んでまいります。



イトーヨーカドー我孫子店
管理統括マネジャー中村 典子さん

認知症を理解し、見守り、支えよう！～私たちにできること～

6月強化月間 21店舗 644名が受講。累計受講者数 10,794名



和光店 受講者：60名
講師：和光市長寿あんしん課



我孫子店 受講者：36名
講師：地域高齢者相談室



春日部店 受講者：14名
講師：地域包括支援センター

講師の方も含め全員マスク着用、ソーシャルディスタンス、アルコール消毒、感染予防を徹底しました。



尾張旭店 受講者：25名
講師：地域包括支援センター



加古川店 受講者：35名
講師：地域包括支援センター



我孫子南口店 受講者：19名
講師：地域包括支援センター



弘前店 受講者：86名
講師：地域包括支援センター



姉崎店 受講者：8名
講師：地域包括支援センター



若葉台店 受講者：18名
講師：地域包括支援センター